

令和4(2022)年3月

軽自動車新車販売速報

令和4(2022)年4月1日
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：赤間俊一、略称：全軽自協）の調べによる令和4(2022)年3月の軽自動車新車販売台数(新車新規検査台数、トレーラー等を除くナンバーベース)は、全体で185,569台、前年同月比18.9%減となり、10か月連続のマイナスとなりました。

車種別では、乗用車が141,849台で前年同月比21.7%減(10か月連続減)、貨物車が43,720台で同8.4%減(3か月ぶり減)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが4,153台で前年同月比21.4%減(4か月ぶり減)、キャブオーバーバンが23,040台で同12.1%増(4か月連続増)、トラックが16,527台で同24.5%減(10か月連続減)となっています。

この結果、令和3(2021)年度(令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月)の新車販売台数は1,554,971台、前年度比11.5%減となり、3年度連続のマイナスとなりました。

年度販売台数の内訳は、乗用車が1,180,972台、前年度比13.3%減(3年度連続減)、貨物車は373,999台で同5.3%減(3年度連続減)。貨物車の内訳は、ボンネットバン28,658台で同22.1%減(3年度連続減)、キャブオーバーバン188,815台で6.9%増(4年度ぶり増)、トラック156,526台で同13.7%減(2年度ぶり減)となっています。